

平成30年度 第1回 南区区民会議

日 時 平成30年5月29日(火) 17:00～

会 場 南区役所 1階 多目的室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 平成30年度 会議日程と協議内容(予定)について

(2) 平成30年度 協議テーマ設定について

3 その他

4 閉 会

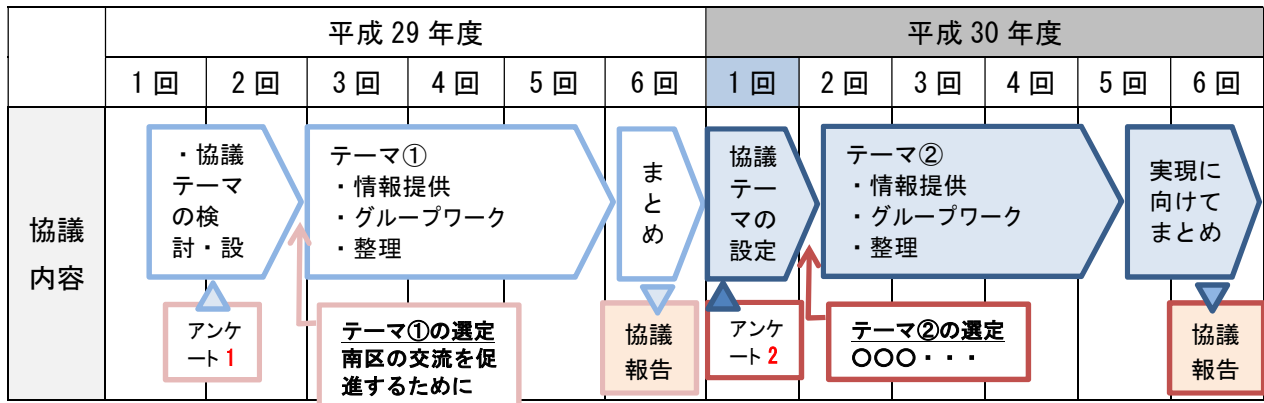
※次回：平成30年__月__日 開催

平成 30 年度 さいたま市南区区民会議の進め方（案）

1. 平成 30 年度会議日程と協議内容（予定）について

平成 30 年度南区区民会議は、以下の日程（案）に基づき、6 回の定例会で協議しながら、委員の皆さまの意見をまとめていきたいと考えています。平成 30 年度は、第 1 回会議で、協議テーマ（1 テーマ）を設定、当該テーマに関する協議を 3～4 回重ね、第 5 回会議でとりまとめを行い、第 6 回会議で、区長へ提出する予定です。

(1) 第 8 期区民会議の協議計画（案）



(2) 平成 30 年度の会議日程と協議の流れ（案）

定例会	開催日	内容（予定）
第 1 回	5 月 2 9 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 平成 3 0 年度会議日程と協議の流れについて 平成 3 0 年度協議テーマに関するアンケートのまとめ 協議テーマ②の選定（1 テーマ）について（投票）
第 2 回	7 月〇日（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回会議の振り返り、協議テーマ②の決定 テーマ②に関する情報提供（市・区政、事例紹介等） テーマ②の現状・課題について（グループワーク①）
第 3 回	9 月〇日（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 回会議の振り返り、まとめ テーマ②に関する情報提供（協議結果を踏まえ提供） テーマ②に関する取組方向性（グループワーク②）
第 4 回	1 1 月〇日（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回会議の振り返り、まとめ テーマ②に関する情報提供（協議結果を踏まえ提供） テーマ②の取組アイデア整理（グループワーク③）
第 5 回	1 月〇日（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 第 4 回会議の振り返り、まとめ テーマ②に関する実現化方策について 協議内容報告書の骨子・素案について（全体協議）
第 6 回	2 月〇日（予定）	<ul style="list-style-type: none"> 平成 3 0 年度協議のまとめ、提出（会長より南区長へ平成 30 年度協議のまとめを提出） 協議内容の概略説明

2. 平成 30 年度協議テーマ設定について（案）

平成 29 年度第 6 回会議において、平成 30 年度の協議テーマについて、委員全体での協議を行いました。その結果として、平成 30 年度第 1 回会議の開催前に委員からの意見・提案を集め、第 1 回会議において、協議テーマを決めることにしました。

(1) 協議テーマに関する主な意見（平成 29 年度第 6 回会議録）とアンケート項目（案）

- 本年度でも、話し足りないことが多かったので、来年度は全く違うテーマではなく、「南区の交流を促進するために」を引き続き、言い足りなかったことを協議していくのはどうでしょうか。
- 本年度は交流をテーマにしましたが、協議の中では「こんなテーマも話し合いたいな」と思ったこともあったと思います。特に組織団体の方は、各団体の観点から提起したいものがあるのではないですか。
- せっかく 1 年間議論してきたことを、さらに一段階でも深堀して進める意味は大きいのではないのでしょうか。
- 交流がテーマでしたが、広く浅くなってしまうと感じています。小さなことを着実にやりながら、交流を深めていく方向があると思います。健康や環境の分野での活動では、特にその必要を感じています
- 「交流」をさらに掘り下げていくのか、本年度のまとめにある提案をモデル的に検証していくのか、あるいは、委員提案テーマ一覧から選ぶことにするのか、という選択になると思います。
- 委員提案テーマ一覧の 2 列目のキーワードの区分ぐらいで、協議テーマにしたらどうでしょうか。そして、そのテーマにおいて、人と人をつなげるという交流の観点を忘れずに、交流を意識しながら議論を進めていくのが良いと思います。
- 委員提案テーマ一覧を踏まえて、本年度のこれまでの協議の中で足りないものは何か、例えば、市民と行政の協働とか、市民活動ネットワークなどを取り上げながら、さらに深堀し、プラスアルファしていく方法があると思います。その際、第 1 回目資料にある過去の区民会議の協議テーマと提言内容一覧から、既に動いているもの（例えばヒマワリを活かしたまちづくり）などは除外していく必要があると思います。
- 本年度第 2 回で協議した委員提案テーマ一覧は、アンケート方式で各委員の意見を整理したもので、この表のキーワードには、各委員の関心が高い課題とともに、各団体が抱えている課題も反映されていると考えられます。本年度の協議を踏まえて、これらのキーワードと照らし合わせて、皆様が区民会議で改めて何を協議したいかが基本ではないのでしょうか。（事務局）
- 一つ目は、来年度も交流をテーマにし、本年度の協議をさらに深堀していく。二つ目は、他分野でもテーマが挙がっており、来年度は他分野のテーマとするが、人と人をつなげる、団体間の交流などを重視することで、その分野での「交流」を深めるための議論もする。三つ目は、事務局からの提案のように、皆様から既にいただいている委員提案テーマ一覧のキーワードには、各団体が抱えている課題も反映されていると考えられ、これらキーワードからピックアップして、協議テーマとする。それが、本年度の協議と重なるのであれば、本年度の話し合いをさらに深堀することになる。（支援者）
- 委員提案テーマ一覧のキーワードのレベルで来年度テーマを選び出し、本年度の「交流促進ために」の協議を活かしていくことが基本になることで合意がとれたということでしょうか。
- それでは、来年度の第 1 回開催前にアンケートで意見を募ります。その意見を整理した上で、第 1 回会議で協議テーマを 1 つ決めることにしたいと思います。（議長）



<協議テーマに関するアンケート設問項目案>

設問① 協議テーマの選定方法について（3つの選定方法から1つ選択）

設問② 上記、選定方法に基づく協議テーマの提案について（回答方法別で1テーマの提案）

設問③ 区からの情報提供や会議の進め方について（自由意見）

(2) 平成 29 年度協議内容のまとめ（南区区民会議だより「みなみ」）

第8期南区区民会議 平成29年度 協議内容のまとめ

〔協議内容の体系と方向性〕

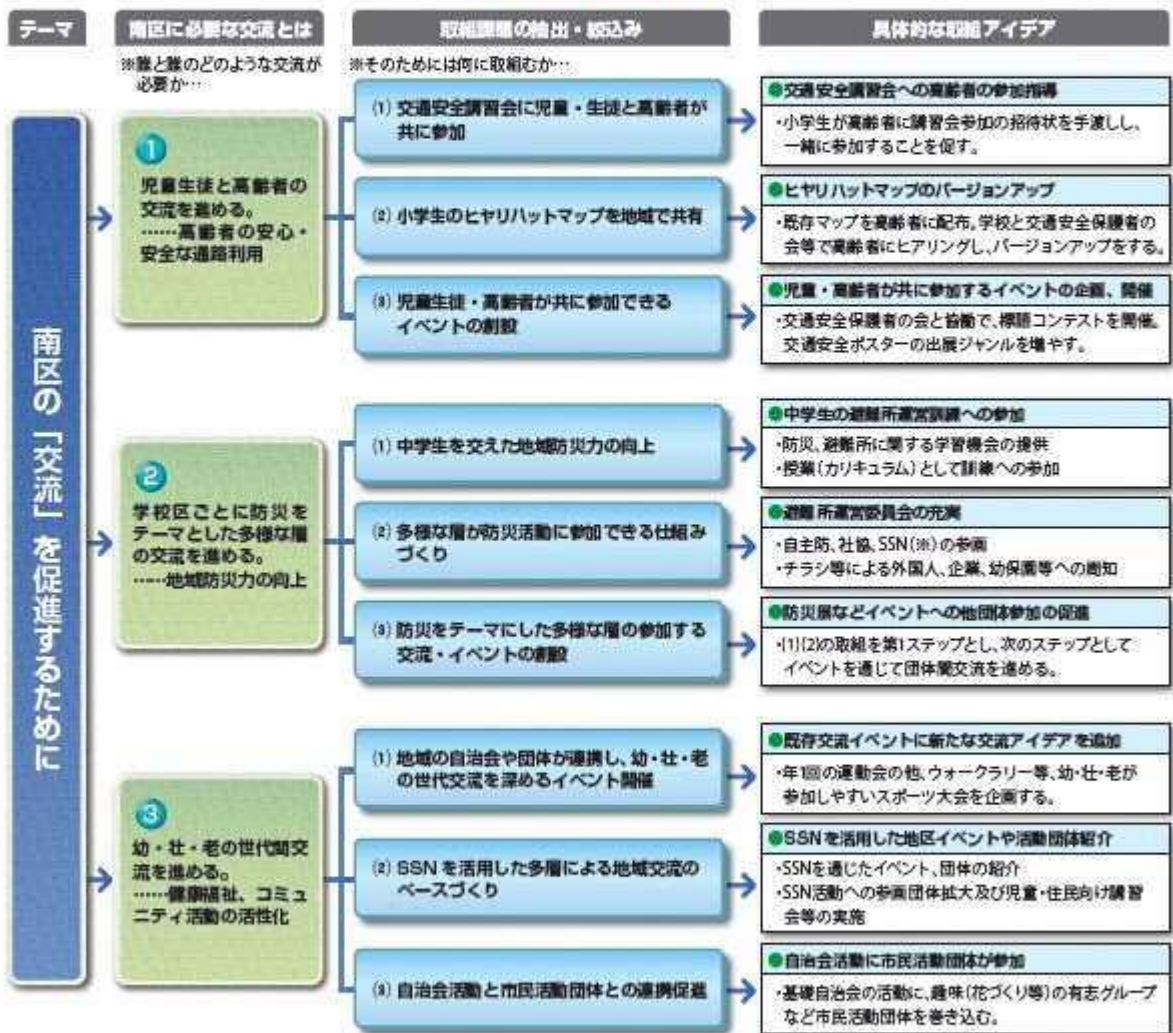
本会議では、南区の交流を促進するために、グループワークを行い、以下の3つの目標と9つの優先課題を掲げ、課題別の取組アイデアを提案します。



① 「南区に必要な交流とは」

- (1) 児童生徒と高齢者の交流を進める。……………高齢者の安心・安全な通路利用
- (2) 学校区ごとに防災をテーマとした多様な層の交流を進める。……………地域防災力の向上
- (3) 幼・壮・老の世代間交流を進める。……………健康福祉、コミュニティ活動の活性化

〔協議内容の体系〕



※SSN:スクールサポートネットワーク協議会

南区における「交流」促進の方向性

1. 互いに顔のわかる学区単位での交流を促進し、区全体に交流の輪を広げる
2. 区民の関心あるテーマに基づく、多世代交流のきっかけ・場づくりを進める
3. 学区単位の既存組織やネットワークを活かした交流拡大の仕組みをつくる

(3) 平成 29 年度南区区民会議委員提案テーマ一覧

分野・キーワード		協議テーマ(中項目)の委員提案
交流	居場所	① 地区の公民館に半日で良いのでスペースが欲しい。(なにげなく集まれる場所)
	高齢者、居場所、子育て	② 元気な高齢者でも行く所がない。子育て中の相談にのる。
	転入者との交流	③ 近隣のコミュニケーションの向上。(地元の方と転居者とのコミュニケーション不足)
	イベント	④ みなみ自治会ウーマン”芸能フェスタ”。
	イベント	⑤ 北区とのコラボで”まなびとあそび”のイベント開催。
	世代間交流	⑥ 世代間の交流を深め「地元愛」の向上を図る。
	居場所	⑦ 気軽に話せる場所を多くつくる。
健康づくり、居場所	⑧ 食べる事・集える場所。	
高齢者、交流	⑨ 子育て・孫育てしやすいまち実現のため、世代間交流の機会を増強する。	
環境・自然	河川環境の改善	① 河川(小川、排水路等)の美化と水草・魚類の放流。
	ヒマワリ	② ヒマワリをたくさん咲かせましょう。
	緑の環境	③ 大きな木が少なくなった。(もっと木を植える。)
	緑の環境	④ 緑陰を増す。(街路樹の強い剪定をやめる)
	ヒマワリ	⑤ 南区のどこでもひまわりが咲いている。
	環境、ごみ収集場所	⑥ ごみ収集場所の整備。
環境美化	⑦ 区民の美化意識向上を図る。	
交通	歩道の安心・安全	① 安心して通行・通学できるグリーンゾーン等の新・増設。
	巡回バス	② 巡回バスを増やして欲しい。地区にもよるので。
	歩道の安心・安全	③ 道路(歩道)の段差解消と明るい夜間照明。
	歩道の安心安全	④ 自転車レーンのマナーを徹底。
	交通安全	⑤ 例えば近隣で発生した事例を交えての交通安全教室など、各種講習会の実施。
	通学路の安心安全	⑥ 教育行政の充実。(児童通学路の確保)
	歩道の安心安全	⑦ 自転車レーンの拡大。
健康	高齢者の健康づくり	① 健康寿命の延伸をはかる。(健康づくり講演会や食育教室の開催)
	健康づくり、環境整備	② 活発なサークル活動・健康維持。(ある程度の広さの公園整備)
	健康づくり、交流	③ スポーツをして健康維持・交流を推進。(活動の紹介等による促進)
	救急医療	④ 救急体制を整える。(地区内に救急の受け入れ先がない)
	高齢者の医療対策	⑤ 区内における各医療の整備
	健康づくり、環境整備	⑥ 健康への意識向上。(気軽に運動できる環境)
防犯・防災	防災	① 住民1人1人が防災に努める。(これまでの協議結果の集大成)
	防犯	② 防犯意識の向上を図る。
	防災	③ 避難所の備蓄品が少ない。(を充実させる。)
	弱者の防災	④ 体力的に弱い高齢者を周辺の人々が支える。
情報・活動	情報発信	① より多くの区民が情報共有できるための仕組みをつくる。(安心・安全情報ガイド)
	転入者	② 転入者が地域に溶け込みやすい仕掛けをつくる。
	市民と行政の協働	③ 市民と行政の協働の実践推進。(市民活動ネットワークの充実)
	市民活動ネットワーク	④ 市民活動ネットワークの周知と活用。
子育て	子育て、居場所	① 子育て支援。(家庭で孤立しないよう、気軽に利用できる居場所が必要)
	子育て、見守り体制	② 地域での子供の育成の向上。(地域全体で見守る体制づくり)
	子育て、フードバンク	③ フードバンクや子供食堂の設置など。

平成 30 年 5 月 2 日

～平成 30 年度委員アンケートご協力のお願い～

平成 29 年度第 8 期区民会議では、委員の皆さまの意見を踏まえ、「南区の交流を促進するために」をテーマに 1 年間協議を進め、その内容について区長に報告しました。

平成 30 年度区民会議においても、委員の皆さまが選定する協議テーマに沿って会議を進めていきます。平成 30 年度協議テーマについては、昨年度第 6 回会議において、委員の皆さまの意見をお聞きし、その選定方法については概ね合意を得たものと考えています。

そこで、改めて平成 30 年度協議テーマについて、皆さまの具体的なご意見や考えをお聞きし、テーマ選定の参考にしたいと思います。平成 30 年度第 1 回区民会議では、その結果を整理のうえ、当該年度の協議テーマを検討、決定したいと考えております。

お忙しいところ恐縮ですが、事前に協議テーマに関するアンケートをご記入の上、以下のファックスまたはメールで 5 月 1 6 日（水）までに事務局へご提出お願いいたします。

(提出先) 南区役所区民生活部コミュニティ課

F A X : 0 4 8 - 8 4 4 - 7 2 7 1

E-mail : minamiku-community@city.saitama.lg.jp

平成 30 年度委員アンケート調査票

お名前 _____

1. 昨年度第6回会議での協議を踏まえ、平成 30 年度協議テーマの選定方法について、適当と思われる方法を、以下の 3 つの中から、一つだけ選んで○印をつけてください。

A 平成 29 年度協議「南区の交流を促進するために」を深堀するテーマを設定する
B 委員提案テーマ一覧の交流以外の分野・キーワード（課題）に交流を絡めて設定する
C 委員提案テーマ一覧の分野・キーワード（課題）から新たに設定する

2. 1. に回答いただいた選定方法に基づき、以下に（1）協議課題と（2）協議テーマの提案（1 テーマ）及びその提案理由について、ご記入ください。

（Aの選定方法に○をつけた方） ～資料p3（2）平成 29 年度協議内容のまとめを参考に

（1）深堀すべき課題	（2）協議テーマの提案（1 テーマ）
～昨年度協議を踏まえ、もう少し時間をかけて検討したい課題	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> （提案理由）

（Bの選定方法に○をつけた方） ～資料p4（3）平成 29 年度委員提案テーマ一覧を参考に

（1）交流を絡めて検討したい課題	（2）協議テーマの提案（1 テーマ）
～交流以外の分野・キーワードから交流を絡めて検討したい課題	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> （提案理由）

（Cの選定方法に○をつけた方） ～資料p4（3）平成 29 年度委員提案テーマ一覧を参考に

（1）分野・キーワード	（2）協議テーマの提案（1 テーマ）
～委員テーマ一覧の分野・キーワードから新たに検討すべき課題	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> （提案理由）

3. 平成 30 年度協議テーマ検討にあたっての区からの情報提供、また会議の進め方など、ご意見があれば、お聞かせください。

ご協力有難うございました。

(設問 2 の記入例)

平成 29 年度第 6 回会議において、委員の皆さまから提案された平成 30 年度協議テーマに関する意見を参考に、設問 2 の**記入例**を作成しました。協議テーマ提案の参考にしてください。

(A の選定方法に○をつけた方) ~資料 p3 (2) 平成 29 年度協議内容のまとめを参考に

(1) 深堀すべき課題	(2) 協議テーマの提案 (1 テーマ)
~昨年度協議を踏まえ、もう少し時間をかけて検討したい課題 組織・分野・世代間を結びつけた交流の拡大	既存組織やネットワークを活かした交流を拡大するために (提案理由) 昨年度協議のまとめで、既存組織やネットワークの活用は、組織・分野・世代間を結びつけるとともに、南区の交流拡大の仕組みとして有効と考えられることから

(B の選定方法に○をつけた方) ~資料 p4 (3) 平成 29 年度委員提案テーマ一覧を参考に

(1) 交流を絡めて検討したい課題	(2) 協議テーマの提案 (1 テーマ)
~交流以外の分野・キーワードから交流を絡めて検討したい課題 健康分野のキーワードから健康づくりに交流を絡めて推進	スポーツ活動を通じた健康維持・交流を促進するために (提案理由) どの分野においても、交流促進が活性化のベースになると考えるが、年代を問わず区民の関心の高い健康づくりやスポーツ活動を切り口にした取組が有効と考えられることから

(C の選定方法に○をつけた方) ~資料 p4 (3) 平成 29 年度委員提案テーマ一覧を参考に

(1) 分野・キーワード	(2) 協議テーマの提案 (1 テーマ)
~委員テーマ一覧の分野・キーワードから新たに検討すべき課題 情報・活動分野のキーワード 市民と行政の協働の推進	市民と行政の協働を实践推進するために (市民活動ネットワークの充実等) (提案理由) 南区における市民と行政の協働推進には、市民活動ネットワーク等を活かし、協働の实践活動を積み重ねることが重要と考えられることから

平成30年度委員アンケート調査票回答一覧

1: H30年度 協議テーマ選 定方法	2-(1): 協議課題 [A 深掘すべき課題] [B 交流を絡めて検討したい課題] [C 新たに検討すべき課題]	2-(2): テーマの提案	2-(2): 提案理由	3. 自由記入
A	食育と健康づくり	南区民の健康寿命の延伸	平均年齢と健康寿命の差は開いていくばかり。食生活・スポーツ・楽しい会話スペースが健康維持には有効と考えます。	
A	組織・分野・世代間を結びつけた交流の拡大	SSNを活用した地域内交流	SSNの活用についてより深く具体的な検討をしたい。学校間での温度差もあるようなので。	
B	健康づくり・交流	スポーツをして健康維持・交流を推進(活動の紹介等)	活動の紹介で地域のスポーツサークルの活性化、地域交流、健康促進。	高齢福祉課?長寿応援手帳登録団体の紹介(場所・内容)ができるか?
A		顔の見える地域活動を展開するために	交流の実現化へ向けた取組みを考えないと、絵に描いた餅になってしまうから。	関心分野の実現性の高いと思われるものを抽出し、その実現性を掘り下げることが、世代間を結びつける近道になると思われることから。
C	子育て	地域で子供を育てるために	子育てによる悩み、ストレス等マイナス要因を専門家とは違った視点で支える環境整備からの街づくりを目指す。	市民活動ネットワークのスキルを活用するための情報提供、意見聴取の機会が欲しい。
A	交流	転入者との交流他	人口調査から見えてくるものは戸建世帯と集合住宅世帯の構成比、1人住い、2人住い(1人住い予備軍)世帯の構成比	アパート、マンション等の集合住宅世帯を無視しての自治会まちづくりは成り立たなくなります。いかにその世帯を取り込んで行くかが鍵になりますので、その辺りをもっと深く検討していきたいです。

1: H30年度 協議テーマ選 定方法	2-(1): 協議課題 [A 深掘すべき課題] [B 交流を絡めて検討したい課題] [C 新たに検討すべき課題]	2-(2): テーマの提案	2-(2): 提案理由	3. 自由記入
B	健康・交通・防犯	健康(左のうち1つということなら ば)	全ては体が資本であり、健康なくし ては何もできないと思います。	
B	世代間交流から地域の防犯防災 につなげていく	高齢者の安心安全な道路利用を 計る為の啓発活動	下校途中の児童が事件に巻き込ま れる事案があった為、子供達の下 校時間(平日午後)に合わせて高齢 者に外へ出てもらうetc。	青の1班はかなり具体的なテーマで 話し合われていた為、それを安心 安全な道路利用だけでなく、地域の 防犯、安心安全な街づくりに広げて いけたら良いのではないかと思いま した。
A	組織・分野・世代間を結びつけた 交流の深耕・拡大	既存組織や、ネットワークを活か した交流の深耕・拡大	昨年度の協議において、具体的な 方策、或いは仕組みが十分検討さ れていない。	
A	交流の枠を広げる協働組織の構 築	人づくり・まちづくり協議会”みな みコミュニティプラザ” (→自治会・SSN・市民活動団体 で構成)	ひと(区民意識)・まち(地域資性)・ きずな(交流・融和) の醸成に役立 てる。	
A			自治会ごと、中学校区ぐらいの単位 で、幼児、65歳以上の参加でパター ゴルフ大会ができないかと考えてい たので。	
A		既存組織を活用し交流を拡大	縦割組織に同じテーマを持つこと により一層交流が深まり真の交流の 姿が見えてくる。	

委員提案の整理とテーマ選定の方向性（案）について

(1) 委員提案の集計結果（別紙の平成 30 年度委員アンケート調査票回答一覧を参照）

昨年度第 6 回区民会議の協議を踏まえ、本年度委員の皆様に変更して協議テーマについてのアンケートをお願いしました。以下にその内容（12 名の回答あり）を整理しました。

(2) 平成 30 年度協議テーマの選定方法について

テーマ選定の方法については、「A：平成 29 年度協議『南区の交流を促進するために』を深掘りするテーマを設定する」が最も多くなっています。

設問 1. 平成 30 年度協議テーマの選定方法について		回答者数
A	平成 29 年度協議「南区の交流を促進するために」を深掘りするテーマを設定	8
B	委員提案テーマ一覧の交流以外の分野・キーワード（課題）に交流を絡めて設定	3
C	委員提案テーマ一覧の分野・キーワード（課題）から新たに設定	1

(3) 設問 2. 回答の多かった選定方法 A に基づいた協議課題と協議テーマの提案について

選定方法 A を選んだ 8 名の委員の皆様のご提案（1. 深掘すべき課題、2. 協議テーマの提案及び提案理由）は、以下の通りです。

1: H30 年度協議テーマ選定方法	2- (1): 協議課題 [A 深掘すべき課題] [B 交流を絡めて検討したい課題] [C 新たに検討すべき課題]	2- (2): テーマの提案	2- (2): 提案理由
A	食育と健康づくり	南区民の健康寿命の延伸	平均年齢と健康寿命の差は開いていくばかり。食生活・スポーツ・楽しい会話スペースが健康維持には有効と考えます。
A	組織・分野・世代間を結びつけた交流の拡大	SSNを活用した地域内交流	SSNの活用についてより深く具体的な検討をしたい。学校間での温度差もあるようなので。
A		顔の見える地域活動を展開するために	交流の実現化へ向けた取組みを考えないと、絵に描いた餅になってしまうから。
A	交流	転入者との交流他	人口調査から見えてくるものは戸建世帯と集合住宅世帯の構成比、1人住い、2人住い(1人住い予備軍)世帯の構成比
A	組織・分野・世代間を結びつけた交流の深掘り・拡大	既存組織や、ネットワークを活かした交流の深掘り・拡大	昨年度の協議において、具体的な方策、或いは仕組みが十分検討されていない。
A	交流の枠を広げる協働組織の構築	人づくり・まちづくり協議会"みなみコミュニティプラザ" (→自治会・SSN・市民活動団体で構成)	ひと(区民意識)・まち(地域資性)・きずな(交流・融和)の醸成に役立てる。
A			自治会ごと、中学校区ぐらいの単位で、幼児、65歳以上の参加でバターゴルフ大会ができないかと考えていたので。
A		既存組織を活用し交流を拡大	縦割組織に同じテーマを持つことにより一層交流が深まり真の交流の姿が見えてくる。

委員提案の整理とテーマ選定の方向性（案）について

前頁の提案内容について、項目別に見ると以下のように整理されます。

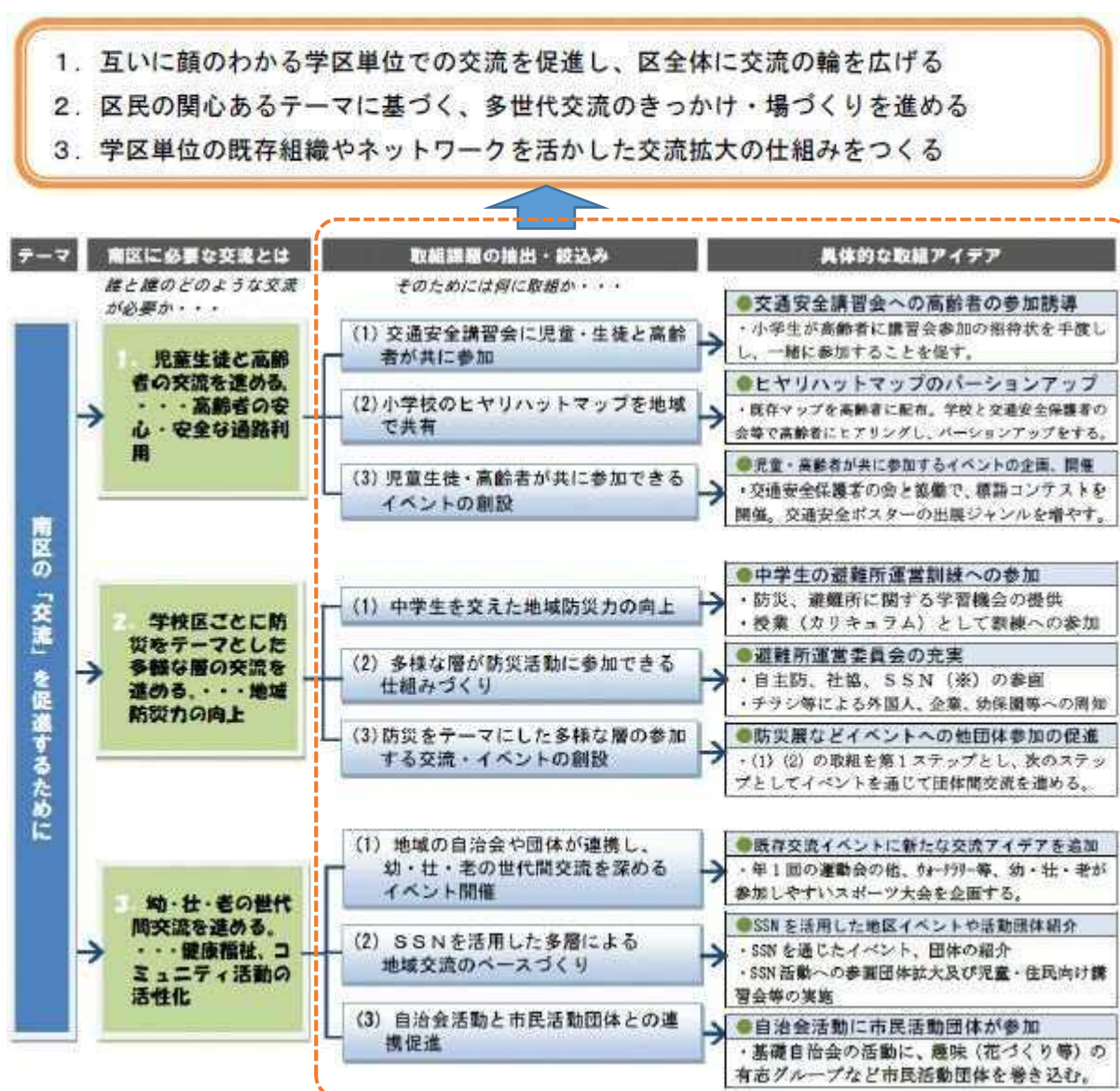
<深堀すべき課題>～昨年度協議を踏まえ、もう少し時間をかけて検討したい課題

組織・分野・世代間を結びつけた交流の拡大、交流の枠を広げる協働組織の構築など、既存組織を活用した交流拡大の仕組みづくりが深堀する課題として、挙げられています。

<協議テーマの提案（1テーマ）>

上記を踏まえ、協議テーマの提案として、「既存組織やネットワークを活かした交流の拡大」、SSNを活用した地域内交流」などが挙げられています。

なお、昨年度協議のまとめでは、南区における交流促進の方向性として、以下の3項目に整理し、その方向性の一つとして、「学区単位の既存組織やネットワークを活かした交流拡大の仕組みをつくる」としました。



委員提案の整理とテーマ選定の方向性（案）について

■南区における交流促進の方向性-3（平成29年度協議のまとめ）

3. 学区単位の既存組織やネットワークを活かした交流拡大の仕組みをつくる

本年度の協議では、学区単位の既存組織である「避難所運営委員会」や「スクールサポートネットワーク協議会（SSN）」などのネットワークを活かした交流拡大の仕組みづくりが提案されました。これらは、前項「2. 区民の関心あるテーマに基づく、多世代交流のきっかけ・場づくりを進める」の前提として取り組む必要があります。

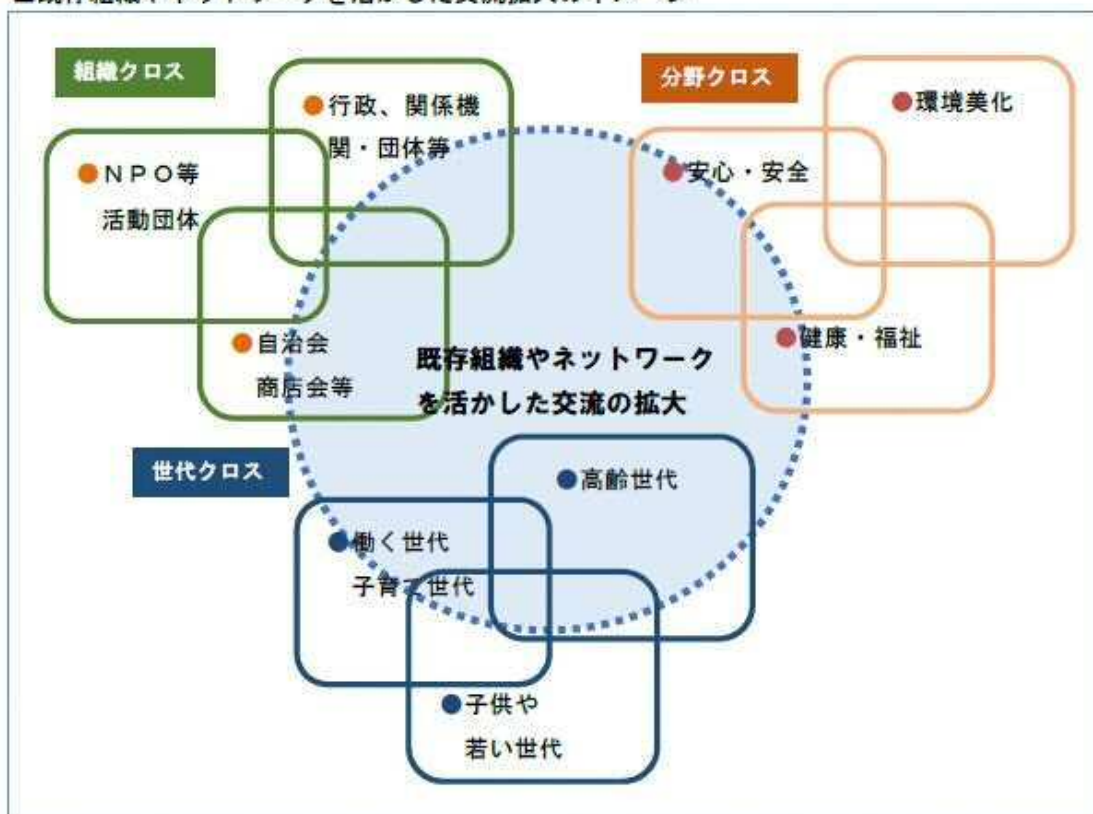
避難所運営委員会については、小学校14校、中学校7校の避難所に対応して全自治会が網羅され、全ての委員会をコントロールすることで、南区全てをカバーすることができます。当該委員会を中心に、関係団体や活動分野、世代間等の横のつながりを強化していくことが期待されます。

また、SSNについても、そのネットワークを活かした多層による地域交流のベースとなることが期待されます。そして、区内のSSN間の取組について情報共有と連携を進め区全体に交流の輪を広げていくことも提案されています。

さらに、小学校ごとに現地調査をして作成されるヒヤリハットマップを高齢者と共有するとともに、作成プロセスを通して、地域や世代間の交流を進めていくことも提案されました。

これらの既存組織やネットワークの活用は、学区内での組織・分野・世代間を結びつけると共に、南区の交流拡大の仕組みの一つとして、有効であると考えます。

■既存組織やネットワークを活かした交流拡大のイメージ



委員提案の整理とテーマ選定の方向性（案）について

（4）平成 30 年度協議テーマ選定の方向性（案）について

昨年度は、「南区の交流を促進するために」を協議テーマに検討を進め、3つの目標と9つの取組（優先）課題を掲げ、課題別の取組アイデアを提案しました。また、これら提案内容を踏まえ、南区における「交流」促進のため、3つの方向性が示されました。

委員アンケートでは、本年度テーマ選定の方法として、昨年度協議「南区の交流を促進するために」を深堀するテーマを設定したいとの意見が多数を占め、協議テーマは「既存組織やネットワークを活かした交流の拡大」、「SSNを活用した地域内交流」などが提案されました。

そこで、昨年度協議のまとめにおいて、既存組織やネットワークの活用は、組織・分野・世代間を結びつけるとともに、南区の交流拡大の仕組みとして有効と考えられることから、

「既存組織やネットワークを活かした交流を拡大するために」

を本年度協議テーマの方向性（南区の交流拡大の仕組み）として捉え、昨年度協議内容を深堀していくテーマを選定していくことが考えられます。

なお、上記方向性を踏まえ、深堀するテーマ選定にあたっては、既存組織やネットワークの考え方を再確認しておく必要があります。

<既存組織やネットワークについて>

○ 既存組織とは、・・・

昨年度協議では、SSN（教育分野）や避難所運営委員会（地域防災分野）など、学区単位の既存組織を活かし、顔の見える範囲から交流促進を進め、南区全体に広げてくことが提案されました。これを受けて、本年度協議で捉える「既存組織」とは、昨年度協議で提案された団体とするか、または概ね学区単位の活動範囲で組織された他分野の団体と考えるか。その場合、どのような団体が考えられるか。

○ ネットワークとは、・・・

昨年度協議では、SSNなど既存組織を構成する団体をネットワークとして捉えましたが、既存組織（学区エリアの地縁団体）のネットワークに加え、南区・さいたま市全体を網羅するネットワーク団体についても検討するか。その場合、どのような団体が考えられるか。

○ 既存組織か新たな地域交流組織の構築か、・・・

昨年度協議では、SSNや避難所運営委員会など学区単位の既存組織を活かした交流拡大の仕組みを検討しましたが、南区の交流促進を目的とした新たな連携組織（学区単位の地域交流組織の設立）も視野に入れた検討を行うか。

委員提案の整理とテーマ選定の方向性（案）について

(5) 第1回区民会議におけるテーマ選定の流れ（案）について

① 各委員からの提案内容・整理とテーマ選定の方向性（案）を共有

- ・ 支援者から委員提案の整理、テーマ選定の方向性（案）について説明
 - ・ 資料説明に対する質疑・応答
 - ・ 委員提案を踏まえたテーマ選定の方向性について
 ～昨年度協議「南区の交流を促進するために」を深堀するテーマを選定する
「既存組織やネットワークを活かした交流を拡大するために」（目的→手段の連鎖）
 - 小学生のヒアリハットマップを地域で共有する（手段）
 - 多様な層が地域防災活動に参加できる仕組みをつくる（手段）
 - S S Nを活用した多層による地域交流のベースをつくる（手段）
- ※上記手段は、昨年度協議内容の「取組課題の抽出・絞込み」から例記



② テーマ選定の方向性を踏まえた深堀テーマに関する意見だし（全体協議）

- a. 前項のように、昨年度協議内容の「取組課題の抽出・絞込み」または「具体的な取組アイデア」から深堀するテーマを検討、選定する。昨年度協議は、既存組織や取組を活かした交流促進の取組アイデアが中心となっており、上記協議内容は本年度テーマ選定の方向性（案）とも合致している。
- b. 関心分野（既存組織やネットワーク）を絞りこみ、その分野の既存組織やネットワークを活かした交流拡大のテーマを検討、選定する。昨年度は、S S N（学校教育分野）や避難所運営委員会（地域防災分野）などが検討されており、委員提案にもあった「健康づくり」、「子育て」、「交流（転入者との交流）」分野から既存組織やネットワークを絞り、当該組織を活かした交流拡大のテーマを検討、選定する。
 - 上記、選定方法を参考に、本年度テーマ候補を数案洗い出す



③ 本年度テーマの選定について（全体協議）

- ・ 上記、検討に基づき、テーマ候補から本年度テーマを1つ選定する
- ・ 本年度テーマの決定（できない場合は、次回の会議で委員による投票を行う）
- ・ テーマに関する区からの情報提供について（テーマが決定した場合）